

報道関係者各位

2020年1月23日  
株式会社ダーツライブ

## 横浜市の小学校のダーツクラブにプロダーツ選手が訪問 点数計算で算数の能力アップ、自主性・社会性の向上などダーツで児童の成長を育む

セガサミーグループの株式会社ダーツライブ（本社：東京都品川区、代表取締役 榎本 菊夫）は、横浜市立森の台小学校（神奈川県横浜市緑区、校長 忽滑谷 隆）のダーツクラブに、家庭用ダーツボードの提供やダーツプロの訪問などを通してクラブ活動の支援を行っています。1月17日（金）には、森の台小学校ダーツクラブでプロダーツ選手によるレッスン会を実施。35名もの児童が参加し、一緒にダーツを楽しみました。



ダーツクラブに所属する児童たち。今回は35名が参加。



(上) ダーツの点数を自分で計算する児童。算数の能力向上にも好効果。  
(下) 投げる位置（スローライン）の距離を測る児童。準備は自分たちで行う。

### 意外な特技の発見で自信を持った児童が成長 「ダーツは教育に好影響」と教育現場からの声も

株式会社ダーツライブ（以下ダーツライブ）は、横浜市立森の台小学校のダーツクラブに、ダーツ用品の提供やプロ選手によるレッスン会など、ダーツの総合アドバイザーとして協力支援活動を行っています。1月17日（金）には、国内のプロダーツ大会に参戦し地元神奈川で活動している広瀬晴香選手を講師として招致。児童たちは、広瀬選手と共にダーツを楽しみました。

#### ダーツという特技を発見した児童が、ダーツクラブのリーダーに

ダーツクラブを始めたことで、参加児童たちの自主性や社会性に好影響があった、と田崎教員は考えています。

「みんなダーツを楽しみながら、いろいろなことを学んでいます。自分たちで準備をして、クラブが終わればみんなで片づける。投げる順番を守って列に並ぶ。ダーツの得点を自分で計算しつつ、相手との得点差も計算しながらプレイする。算数の勉強にも非常に役に立っています。また、運動に苦手意識があった児童の中で、実はダーツのセンスが抜群という子がいたんです。現在その子がクラブのリーダーになって、一生懸命クラブを盛り上げています。」

ダーツライブは、今後も森の台小学校ダーツクラブへの支援を続けます。また、ダーツライブはSDGs(持続可能な開発目標)の活動に取り組んでいます。ダーツをきっかけとしたさまざまな活動を通して、今後もさまざまな自治体やステークホルダーと協力し社会貢献を行っています。



#### 【今回の講師】

広瀬晴香（ひろせ はるか）選手

ダーツの国内プロツアー JAPAN（女性部門）に参戦している若手女性プロダーツプレイヤー。  
2019年9月に開催された JAPAN 兵庫大会では準優勝を獲得。神奈川県を拠点に活躍中の選手です。

今回のダーツレッスン会のお礼として、ダーツクラブに参加する児童たちから手書きの色紙をプレゼントされ、笑顔の広瀬選手。「とても嬉しくて泣きそうになってしまいました。この色紙は本当に宝物です。ダーツクラブでは、児童の皆さんから学ばせてもらうことも多く、自分のほうが感謝いっぱい気持ちになりました。」

株式会社ダーツライブは  
スポーツダーツプロジェクトを通してSDGsに取り組んでいます

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

スポーツダーツプロジェクトの詳細は別紙を参照ください。

#### 報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社ダーツライブ 広報担当：糸井、佐藤  
URL : <http://www.dartslive.com/corp/jp/>  
E-mail: [shuzai@dartslive.com](mailto:shuzai@dartslive.com)



小学生から始める脳トレスポーツ！

# スポーツダーツ

スポーツダーツで使用するダーツは先端がプラスチックのソフトダーツなので安心安全。またイギリス発祥の紳士のスポーツなので、対戦相手を非難したり邪魔したりすることの無いスポーツマンシップに溢れた競技です。



## ダーツで得られる計算力・集中力・持続力、そしてコミュニケーション能力と協調性。

ダーツは他の射的競技とは違い、真ん中に近ければ良いだけの競技ではありません。戦略や計算で脳を使いながら、緊張の中、自分の腕のみで狙わなければいけません。

また一本投げる毎にその状況に応じた計算が必要になる為、常にさまざまな計算が必要となります。そのような計算や戦略などの相談を仲間ととりながらプレイすることで、コミュニケーション能力や協調性が生まれやすくなります。

カウントアップ計算表				
ラウンド	1投目	2投目	3投目	ラウンド合計
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
6	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
7	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
8	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

## スポーツダーツに必要な道具

DARTSLIVE-ZERO BOARD

ハウスダーツ



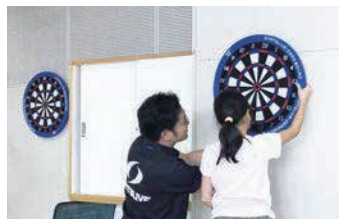
## 子供にとってのメリット



**友達と一緒に、家族と一緒に。**  
ダーツはシンプルで奥深いスポーツです。ダーツは個人戦だけではなく、チーム戦など同じゴールに向かって共闘する楽しみ方もあるので、その場の人数や時間に合わせた状況判断も育まれます。



**足し算も、引き算も、掛け算も。**  
楽しみながら計算能力がアップします。真ん中に入ると嬉しいから、勝負に勝ちたい！と変化するにつれて計算が必要になるスポーツです。計算が苦手な子でもハマった頃には計算が楽しくなります。



**右脳も、左脳も。**  
バランスよく脳を鍛えられます。ダーツは真ん中に入れるだけの競技ではありません。左脳で計算をしながら、右脳では飛ばすイメージをするなど、右脳と左脳をバランスよく鍛えられます。



**集中力も、持続力も。**  
ダーツは究極のメンタルスポーツです。自分の腕の力のみでプレイするダーツは指先が1mmずれるだけで的に到着するときは数cmずれます。技術の向上とともにメンタルも鍛えられるスポーツです。

## 学校にとってのメリット



**健常者も、障がい者も。**  
一緒になって楽しむことが可能です。ダーツは老若男女はもろろんのこと、障がいのある人も無い人も一緒になって楽しむことができるので、子供達のコミュニケーション能力も高まります。



**運動が苦手な子も、集団が苦手な子も、**  
その子の新たな可能性を発見できる。パワー・瞬発力が必要な競技だけがスポーツではありません。じっくり集中して狙うオリンピック競技(射撃・アーチェリー等)の導入としてもダーツは最適です。



**ダーツボードも、ダーツの矢も。**  
ダーツは他のスポーツより安価です。ダーツボードが六千円程度、消耗品も数百円と、他のスポーツよりも安価で、体力もあまり必要ではないので生涯を通じて継続できる競技です。



**教室でも、校長室でも。**  
狭いスペースでもプレイが可能です。ダーツはどんなスポーツよりも狭い場所でプレイすることが可能なので、運動場や体育館などの場所が空いておらず競技の増やせない学校には最適です。

## でもダーツってやっぱり危ないでしょ？

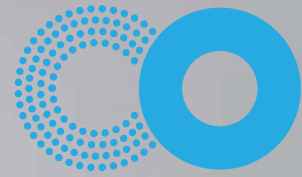


**ソフトダーツの先端はプラスチックで出来ています。**  
ソフトダーツの先端はボールペンよりも丸く、基本的にはチカラいっぱい投げたものではないので、身体に当たっても刺さることはありません。



**プロ選手は全国に二千人以上。**  
正しいダーツの楽しみ方を教えます。ソフトダーツは国内にプロ団体が2つあり、全国にプロ選手も沢山いるので、地域に密着したプロを定期的に招待することも可能です。





## SPORTS DARTS PROJECT

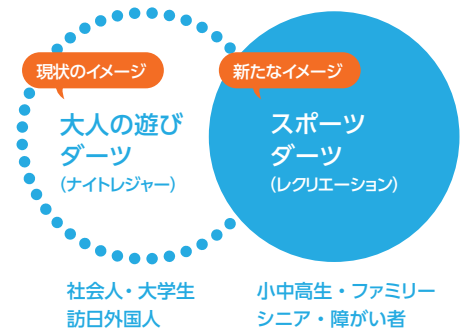
「スポーツダーツプロジェクト」とは、株式会社ダーツライブが年齢・性別に関係なく誰でも手軽にプレイできる「スポーツ（レクリエーション）としてのダーツ」で、国際的な枠組みである「SDGs（持続可能な開発目標）」の実現に貢献していくプロジェクトです。



## 大人の遊びから、全世代が楽しめるスポーツに進化！ 誰もが楽しめるスポーツとしてのダーツが今大注目！！

先端がプラスチックで出来た安全なソフトダーツは、大人の遊びとして大学生やサラリーマンに親しまれてきました。そんなソフトダーツが昨今、子供やシニアはもちろん、障害のある人も無い人も区別する事なく同じ土俵で楽しめる生涯スポーツ『スポーツダーツ』として注目を集めています。ダーツはパワーや瞬発力がある競技ではないので

今までスポーツで輝けなかった人にスポットが当たることも良くあり、集中力や持続力などメンタルの強さを身に着けるのに最適な競技です。また近い距離感で行うスポーツなので会話も弾みコミュニケーション能力も自然と高まります。そんな『スポーツダーツ』をあなたの地域でも始めてみませんか？



### 実績事例



#### 小中学校のダーツクラブ

クラブ内容の相談や地元地域で活躍するダーツプロの紹介など、子供たちが安全にダーツを楽しむ環境作りをバックアップさせていただいています。



#### 少年児童福祉センター

中高生を対象とした少年児童福祉センターにダーツマシンを無償で設置し、来場した若者たちの未来の可能性を広げる支援を行っています。



#### 老人福祉センター

ダーツを通じて健康の増進をはかったり、新しく趣味を広げることで交友関係や地域へ一歩出るきっかけづくりの支援をしています。



#### 多世代交流ダーツイベント

地元のお祭りや、親子三代でのトリオダーツ大会など、多世代交流を意識したダーツイベントを積極的に応援しています。



#### スポーツダーツ講演会

さまざまな世代にスポーツとしてのダーツを知ってもらうために、行政機関が主催する講演会等でもスポーツダーツの普及活動を行っています。



#### 高校・大学の研究授業

体育や情報システム等の研究でダーツを課題にした学生達には、道具の支援やダーツプロの紹介等、さまざまな方法で応援させていただいています。



#### 復興ボランティアイベント出展

ストローや折り紙をつかってダーツを作り、そのダーツを投げて得点計算を楽しむコミュニケーションを広げるなどのボランティア活動を行っています。



#### ダーツを科学的に研究

徳島大学の名誉教授で日本コーディネーショントレーニング協会の代表を務める荒木教授を迎えダーツで得られる脳や身体への影響を研究中です。